

2学期も残り1ヶ月!

松明あかしを境に寒い日が続くようになり、着実に冬の訪れが迫ってきているように感じられます。

学校では2学期も残すところ1ヶ月を切り、まとめの時期となってきました。特に3年生にとっては三者面談後、受験と真剣に向き合うシーズンを迎えました。目標を達成するためには、毎日の授業に集中し、家庭での学習を計画的に進めることが大切です。自分に厳しく充実した生活を送ることのできる人が、勝者になれるはずです。勉強に近道はないことを肝に銘じて、全員が乗り越えてほしいものです。

保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価アンケートの回答にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

◆◆◆松明あかし◆◆◆



8日(土)の夕方から翠ヶ丘公園の五老山において、松明あかしが盛大に行われました。午後6時30分に大松明に点火され、本校の松明にも前生徒会長の小林凌くん(3年)の手によって点火されました。夜空を焦がすように赤々と燃え上がる中、応援合戦が行われました。

~~~~第2回避難訓練を実施!~~~~

20日(木)の6校時に、第2回の避難訓練を実施しました。今回は須賀川消防署から4名の署員の方にお越しいただき、講話や消火器体験の指導をしていただきました。西袋中の卒業生の方もいて、立派に活躍されていました。これから冬場に向かい、暖房器具を使う機会も多くなってきます。火の取扱い等には十分に注意してほしいと思います。



◆小学生中学校訪問

11日(火)の午後に、小中連携事業として小学6年生の中学校訪問を実施しました。中学校の授業や部活動の様子を参観し、生徒会の役員から、中学校の学



習や生活などについて、説明をされました。話を真剣に聞く小学生たちを見て、入学の日がとても楽しみとなりました。

◆市愛護育成会交歓会

13日(木)に須賀川アリーナにおいて、須賀川市愛護育成会交歓会が行われました。本校からも生徒が参加し、開会式での「誓いのことば」や準備運動の模範演技者として活躍しました。



また、他校の生徒たちと楽しく交流する姿が見られました。

《西中生の活躍》

- ◎健康優良生徒表彰
安藤 拓海 佐々木愛結美 (3年)
- ◎県明るい社会づくり作文コンクール
協議会長賞 佐藤 瑞希 (3年)
- ◎県青少年読書感想文コンクール
佳作 榊枝 真帆 (2年)
- ◎全国書画展覧会
特選 小林恵美奈 遠藤 香奈 (2年)
金賞 生田目未怜 (2年)
- ◎岩瀬地区生徒造形作品展《特選》
 - ・1年 佐藤心太 廣瀬海月 田中智美 山崎優介 阪路夏実 佐藤千尋 水野竜牙
 - ・2年 有松宏真 田川純一 只野翔悟 戸田健斗 水野ゆめか 伊藤仮名 岩崎健成 及川大地 大場晴稀 熊田知佳 小林恵美奈 深谷昭徳 武藤光紀 和田歩空 伊藤大平 遠藤香奈 小枝友樹 円谷一樹 松浦瑠那 水野流加
 - ・3年 石井晴夏 星野祐介 海村美月 榎村康太 高梨莉々香 溝井りり子 齋藤芽生 三瓶詩織 鈴木孝太 水野 葵 岩崎琴美 佐藤瑞希
- ◎岩瀬地区音楽祭(創作の部)
 - 特選 渡辺みのり (2年)
 - 金賞 佐藤 千尋 佐藤 凜 (1年) 熊田 知佳 岩崎花奈子 (2年)
 - 銀賞 1年 須藤果南 本多瑠奈 田中智美 樽川ののか 阪路夏実 矢吹瑠菜 佐藤 颯(4歳) 杉本京也 松谷歩佳
 - 2年 安藤千恵 渡辺瑠奈 鈴木滉平 榊枝真帆
- ◎県南中学生新人卓球大会
 - 女子団体オープンの部 2位
 - 2年女子シングルス 3位 五十嵐のどか
- ◎市民体育祭サッカー競技
優秀選手賞 水野 翔太(2年)

☆☆こころの窓☆☆

今話題の錦織選手(テニス)、突然強くなったわけではなく、日々の練習の積み重ねが結果にあらわれてきたのだと思います。勝つには勝つための理由がありました。話を真剣に聞く小学生たち、

ものの道理

人間おたがいに落ち着きを失ってくと、他人の庭の花が何となく赤く見えてきて、コツコツまじめにやっているのは自分だけ、人は皆ぬれ手でアワ、ラクをしながら何かポロイことをやっているように思えてならなくなる。だから自分も何か一つと

思いがちな、そうは世間は許さない。人情として、時にこんな迷いを持つのも無理はないけれど、この世の中に、決してポロイことはないの。ラクなことではないのである。あるように見えるのは、それはこちらの心の迷いで、本当は、どなた様も、やはり一歩一歩地道に積み重ねてきた着実な成果をあらわしておられるのである。だから、努力もせずぬれ手でアワみたいなのをやってみても、それは虫がよすぎるというもの。一時はそれで過ごせても、決して長続きはしない。結局は失敗ということになる。これが、ものの道理であって、この道理をはずれた望みを持つというのは、それこそ欲が深いといえる。欲が深いのは失敗のもと。やはり、ものの道理に適した道を、一歩一歩歩んでいきたい。